

令和6年度 榴岡図書館利用者懇談会 実施報告

- 1 日時 令和7年2月14日(金) 13時30分～15時
- 2 会場 仙台市生涯学習支援センター 5階 第2セミナー室
- 3 出席者 一般利用者 : ※キャンセルの為参加なし
仙台市生涯学習支援センター : 1名
仙台市歴史民俗資料館 : 1名
東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち : 1名
パルシティ管理事務所(日本ハウズイング株) : 1名
仙台市立五城中学校 : 1名
仙台市立榴岡小学校 : 1名
榴岡図書館 : 榴岡図書館長
スタッフ2名
丸善雄松堂仙台センター2名

※今回参加予定の利用者は、前日キャンセル等により参加が得られませんでした。

- 4 内容
 1. 開会
 2. 挨拶 榴岡図書館長
 3. 自己紹介
 4. 令和6年度 自主事業の報告
 5. 令和6年度利用者アンケートから
 6. 榴岡図書館へのご意見・要望・意見交換
 7. 閉会

5 榴岡図書館へのご意見・ご要望等

ご出席者の運営評価、皆様から頂戴しましたご意見・ご要望は以下の通りです。

(1) 榴岡図書館の事業へのご意見・ご要望

○支援センター

- ・図書館主催のブックトレードで1階のロビースペースを貸し出している。利用者が増えているようで、とても良い取り組みだと思う。来年度は月2回に増やすようだが、どんどん施設を活用してほしい。
- ・1階で開催したロビーコンサートでは、コラボで図書館におはなし会をしてもらった。市民センターも「人が実際に集まる」ことを目指しているので、参加者が直接足を運んでく

れたのは良かったと思う。

- ・市民センターの活動をジュニアサポーターの生徒が取材してくれて、一生懸命レポートを作ってくれていた。仙台市では不登校の子どもたちがとても多い中、ジュニアサポーターの活動はやりがいを感じる大切な場だと思う。

【榴岡図書館からの回答】

レポートを作ったジュニアサポーターは中学 2 年生で、不登校ながらも一生懸命活動してくれている。図書館が自分の居場所を守るためのサードプレイスになっていると実感している。

- ・この地域は子育て世代が多く、来年の榴岡小学校も 4 クラスほどあるようだ。せっかく同じ建物に市民センターと図書館が入っているので、市民センターでのイベントに参加しつつ、図書館で本を借りる流れができればいいと思う。これからも連携等をお願いしたい。

○榴岡小学校

- ・4 年生の弟子入り留学等で関わらせてもらっている。
- ・スマホで本を読める時代だが、子育て世代が多い地域ならば図書館で本を読むことをすすめたい。
- ・イスを増やしてほしいという意見があるようだが、ゆっくり座るスペースは必要だと思う。
- ・本の履歴が残る読書通帳は子どもが大人になった時に振り返ることができるので、機械の導入を検討しても良いと思う。

○五城中学校

- ・図書室は人気で、休み時間に利用する生徒が多数いる。
 - ・クロームブックでの朝読が導入されたが、電波が悪くスムーズに読書できない日がある。
 - ・榴岡図書館とはブックカバーを生徒にデザインしてもらう企画で連携した。3 年生は必ず提出、それ以外の学年は任意としたが、生徒以外にも親御さんや先生も参加してくれて、思いの外回収率が高く驚いた。
- また、色紙にコピーしたものを全て掲示してくれたことにとても感謝している。図書室にもコピーしたブックカバーをいただいたので設置したところ、たくさんの生徒たちがもらいにきていた。本に合わせて選んでいる様子も見られて、次に繋がると感じた。
- ・ジュニアサポーターでも当校の生徒が活動している。

○東口ガイドボランティア 宮城野さんぽみち

- ・地域、また歴史民俗資料館の展示等に合わせた内容で、毎月 28 日に東口ガイドボランティア独自で定例のまち歩きを開催している。参加者にとっては自分の住んでいる地域の新たな発見にも繋がっているようだ。
- ・集合と解散場所を立ち寄りやすい場所にすれば、集客にも繋がるのではないかな。
- ・今後は、宮城野通りの歌碑タイルとモニュメントに関するまち歩きをしたいと考えている。

- ・利用者アンケートの報告に、レファレンスサービスの利用が少ないとあるが、さんぽみちでは大いに利用している。以前自分が調べ物をした際、すぐに提供してくれた。

【榴岡図書館からの回答】

レファレンスは是非司書を活用してほしい。質問が無ければ司書のレファレンススキルは成長することができない。謙遜せずにどんな小さな質問でも良いので、声をかけてほしい。

○パルシティ管理事務所

(利用者アンケート報告から)

- ・現在の空調が 40 年間変わっていない。一括で管理する空調になっていて、温度調節もできない仕様になっている。新調しようと見積もりを取ったが、予算との兼ね合いで検討中としている。変更があるまでは、個別の部屋ごとに加湿器の設置や換気を行ってほしい。前年度でご意見をいただいた件（トイレの改修工事と、外にある図書館のブックポスト表示を新しく設置）は今年度予算で工事ができたので、空調は来年度の予算で実施予定としたい。

○仙台市歴史民俗資料館

- ・図書館との連携講座も年 2 回実施している。外に出て、歴史民俗資料館を知ってもらうこともひとつだが、図書館に事業として連携してもらうことで、更に図書館の利用者で歴史民俗資料館を利用したことがない人にも知ってもらう良いきっかけになっていると思う。
- ・歴史民俗資料館でも事業は行っているが、とてもパワーのいる業務。図書館は事業の頻度が高い。職員がとても頑張っていると感じる。事業を月に 1～3 回の頻度で行っていることはすごいと思う。

【榴岡図書館からの回答】

限られた職員数の中で、外部へ出向いての事業は体力のいるところではあるが、いろんな業種の方と出会える貴重な機会でもあると考えている。幸い、楽しみながら企画運営できるスタッフに恵まれているので、スタッフの体力等鑑みながら続けていきたい。まずは図書館員が楽しめるように心がけている。「来てもらう」よりも、「地域と一緒につくりあげる」図書館を目指している。

- ・本の情報をうまく出せるようにしてほしい。連携事業でも関連本を並べてもらったが、講座ではすぐに手に取ることができる仕掛けは作ってほしい。古い本でも、自分が探している本の他に「こんな本もあった」と手に取れるのは、利用者にとっては読んだことのない本と出会う良い機会だと思う。それをうまくアウトリーチできればより理想だが、本来の業務優先にしつつ、今後検討してほしい。
- ・子どもたちにとって図書館は、誰からも何も言われたい、時間の制約もない場所だと思うので、新しい知識を入れるためにどんどん活用して欲しいと思う。

○最後に榴岡図書館から

本来の業務である、本の情報を広く市民に知ってもらうことは第一の目標ではありつつ、事業はその上ではなく両輪だと認識している。事業か業務か、どちらかに傾いてもうまくはいかないと思っている。昔の図書館のように、「静かなところ」であるという認識は薄れつつある。コンパクトな図書館という利点を活かしながらも、古くから引き継がれているものも守っていくスタンスでいる。地域と一緒に成長していきたいと考えているので、今後ともお力添えいただきたい。

懇談会の様子

